

芸劇 ブランチ コンサート

～ 石田泰尚の玉手箱～

Tokyo Metropolitan Theatre Brunch Concert

2016年4月から毎偶数月に開催している芸劇ブランチコンサートがリニューアルし、
2026年4月からはヴァイオリニスト・石田泰尚を中心にお届けします。
神奈川フィル首席ソロ・コンサートマスターとして、
また「石田組」など多彩な活動で幅広い支持を集めるヴァイオリニスト・石田泰尚。
クラシックの枠にとらわれない自由な感性と情熱的な音楽で、
朝のひとときを華やかに彩ります。共演者も公演ごとに替わり、
まさに“玉手箱”のような驚きと感動を届けます。
朝11時からの約1時間、東京芸術劇場コンサートホールを舞台に、
石田泰尚と共に豊かにお楽しみください。

好評
発売中

©Norizumi Kitada Universal Music



©木下雄介

©Taira,Tairadate

第53回 「石田泰尚 & 寶川 風」

2026年4月21日(火) 出演者: 石田泰尚 (Vn) 寶川 風 (Pf)

J.S.バッハ=グノー: アヴェマリア

ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ第5番へ長調 op.24「春」

ピアソラ: ル・グランタンゴ



©木下雄介

第54回 「石田泰尚の無伴奏」

2026年6月23日(火) 出演者: 石田泰尚 (Vn) 佐久間聡一 (ゲスト: Vn)

ピアソラ(アグリ編曲): アディオス・ノニーノ変奏曲

プロコフィエフ: 2つのヴァイオリンのためのソナタ 八長調 op.56(※)

プロッポ: 無伴奏ヴァイオリンのための組曲第1番

ハルヴェルセン: ノルウェーの旋律による演奏会用カプリース(※) ※ヴァイオリンデュオ



©井重人

佐久間聡一(Vn)



第55回 「YAMATO String Quartet」

2026年8月11日(火・祝) 出演者: YAMATO String Quartet
石田泰尚 (1st) 執行恒宏 (2nd) 榎戸崇浩 (Va) 阪田宏彰 (Vc)

エンニオ・モリコーネ: ニューシネマパラダイス

レナード・バーンスタイン: ウェストサイドストーリー

ビートルズ: ビートルズメドレー ほか

各回11:00開演(10:30開場) 全席指定: 3,000円(各回・税込)
東京芸術劇場コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 JR、東京メトロ、東武鉄道、西武鉄道「池袋駅」西口徒歩2分。(池袋駅地下2b出口直結)

主催: MIYAZAWA & Co. 提携: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

本公演は5歳以上の方の入場が可能です。但し、お席は必要です(4歳以下入場不可)

託児サービス「株式会社明日香」
(有料・定員制・要事前申込)

申込・問合せ: 0120-165-115
(土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)

お問い合わせ

サンライズプロモーション(チケットの取扱いはありません)
0570-00-3337 (平日12:00~15:00)

公演情報は

MIYAZAWA&Co. 検索



YouTube

チケット取扱

MIYAZAWA&Co.(登録無料) <https://www.funity.jp/tickets/miyazawac/showlist> miyazawa&co. チケット 検索

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00) <https://www.geigeki.jp/t/>

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> ローソンチケット <https://l-tike.com/> イープラス <https://eplus.jp/>

各回の
聴きどころ

第53回
4/21公演

石田泰尚と實川風による華やかな共演。ベートーヴェン《春》では瑞々しい歌心と躍動感が光り、ピアソラ《ル・グランタンゴ》では情熱的なリズムが炸裂。繊細さと情熱が交差する、朝にふさわしい濃密なデュオの魅力をお届けします。

第54回
6/23公演

石田泰尚が挑む無伴奏とデュオの世界。プロコッポの無伴奏では楽器の限界を超える深い精神性を描き、プロコフィエフやハルヴェールセンではゲストの佐久間聡一と火花散るアンサンブルを展開。ヴァイオリンの可能性を凝縮した一時間です。

第55回
8/11公演

映画音楽とミュージカル、そしてポップスの名曲を弦楽四重奏で鮮やかに再構築。石田泰尚の唯一無二とも言えるプレイスタイルの旋律を軸とし、緻密かつエネルギッシュなアンサンブルが名旋律を立体的に描き出します。世代を超えて愛される音楽の魅力を、至近距離で体感できる特別な朝のひとつです。



全公演
出演

石田泰尚 (ヴァイオリン)
Yasunao Ishida (Violin)

©Norizumi Kitada Universal Music

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの顔」となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。自身がプロデュースした男性奏者のみの弦楽アンサンブル「石田組」など、様々なユニットでも独特の輝きを見せる。録音も多く石田組デビューアルバム「THE石田組」、ソロライブアルバム第3弾となる「Mozart Live」はレコード芸術誌上で特選盤の評価を得た。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されその熱いステージの様子は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「らららクラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスター(2025年4月よりソロ・コンサートマスター)を兼任。使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。



實川風 (ピアノ)
Jitsukawa Kaoru (Piano)

幼少期より国内主要コンクールにて優勝・入賞を果たし、2015年ロン・ティボー国際コンクール第3位(1位なし)、最優秀リサイタル賞、最優秀新曲賞。2016年カラーリョ国際ピアノコンクールにて第1位。上海音楽祭、ソウル国際音楽祭・ノアン・ショパンナイト(フランス)・アルソノーレ(オーストリア)などの音楽祭に出演。近年はバッハとベートーヴェンを演奏活動の中心に据え、2023年にバッハアルバム

をキングレコードよりリリース。更なる研究のためにチェンバロ演奏にも取り組んでいる。東京藝術大学を首席で卒業し、同大学大学院(修士課程)修了。グラーツ芸術大学ポストグラデュエート修了。2024年4月より、東京藝術大学器楽科ピアノ専任講師を務める。



©井村重人

佐久間聡一 (ヴァイオリン)
Soichi Sakuma (Violin)

4才からヴァイオリンをはじめ、桐朋学園大卒業。新日本フィル契約団員、大阪フィル首席奏者、ドイツ・カンマーフィルハーモニー・プレーメン客演奏者、広島交響楽団の第1コンサートマスターをつとめた。現在は、ソリスト、室内楽奏者、客演コンサートマスターとして多彩な活動で活躍の幅を広げている。「その魅力的な音色で聴衆を一つにする力がある奏者」(音楽の友)など、誌上でもたびたび注目を浴びている。また、YouTubeの〈愉快的ヴァイオリン教室サロン・フリッツ〉は多くの音楽愛好家に人気を博している。(チャンネル登録者1.5万人超)石田組・組員、第21弦楽四重奏団、弦楽トリオAXIS、ピアノトリオMIYABI、デュオでゆおのメンバーとしても活動中。洗足学園音楽大学非常勤講師。

YAMATO String Quartet (弦楽四重奏団)

YAMATO S.Q.は、1994年に結成され、松尾学術財団の特別奨励金・秋田県大曲市新人音楽祭グランプリ・大阪国際室内楽コンクール入選など受賞歴を重ねてその活動を開始し、2024年に結成30周年を迎えた。JYACMSの第10回記念コンサート・リゾナーレ音楽祭・NHK-FMリサイタル・ニッポン放送公開録音「新日鉄コンサート」などの経験を経て、澄んだ音色と巨大な響きを持った弦楽四重奏団として個性を確立すると、世界初録音となるCD「山田耕筰 室内楽全集」、幸松肇氏の「日本民謡全集」の録音により、日本音楽のスペシャリストとして知られるようになる。近年は近藤和明氏のアレンジを武器に、膨大なピアソラ作品、「ピンクパンサー」「ひまわり」などの映画音楽など、ジャンルの壁を取り払う企画を進行中。中でもジミ・ヘンドリクスやレッド・ツェッペリンなど、ロックの王道を取り上げたプログラムは、ヴァイオリン石田泰尚の他に類を見ないプレイスタイルと合致し、新しい弦楽四重奏の世界を拓き続けている。



執行恒宏 (ヴァイオリン)
Tsunehiro Shigyo (Violin)

東京藝術大学附属高校を卒業後、同大学在学中より演奏活動を始め、山形交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者に就任。後に2006年まで同楽団コンサートマスターを務め、その後2023年7月までパシフィックフィルハーモニア東京(旧東京ニューシティ管弦楽団)コンサートマスターを務める。現在はフリーランスのヴァイオリニストとして国内主要オーケストラのゲストコンサートマスター、東京オペラシティでのリサイタル等ソリストや室内楽奏者としても活動している。



榎戸崇浩 (ヴィオラ)
Takahiro Enokido (Viola)

1988年名古屋市立菊里高校音楽科にヴァイオリンで入学。第44回全日本学生音楽コンクール名古屋大会第1位。1992年東京音楽大学待生としてヴィオラ専攻で入学。1993年摂津音楽祭リトルカメラアコンクール第3位。1996年第66回読売新人演奏会に出演。関東主要オーケストラに客演首席奏者として出演。1997年に読売日本交響楽団入団、首席代行を務めた。現在は、同団ヴィオラ奏者として、またアンサンブル奏者、ドラマ、CM、ゲーム等のレコーディング奏者としても活躍している。



阪田宏彰 (チェロ)
Hiroaki Sakata (Violoncello)

国立音楽大学卒業、YAMATO String Quartet代表。YSQでは弦楽四重奏の世界を無限に広げていく「unlimited∞」を企画。近藤和明氏の編曲による、ヴァイオリニスト石田泰尚の唯一無二の個性を活かしたプログラムを量産してきた。多くのグループでリーダーを務め、個性的なメンバーの特質を生かしたプロデュースを得意とする。近年はオーケストラとの共演やリサイタルなど、ソリストとしても活躍。これまでに国内の主要オーケストラの客演首席奏者を務めてきた。桜美林大学非常勤講師。